

平成27年度地区まちづくり協議会活動報告の内容

番号	内 容
	地区まちづくり協議会名
	地区まちづくり協議会の認定日
	地区まちづくり計画の認定日
	地区まちづくり協議会の活動テーマ(認定申請書より)
	今年度(H27.4.1～H28.3.31)の主な活動の内容について (会議やイベントなどの参加人数)
	今年度活動をすすめられた中で、評価できることは どのようなことか。 (よかったこと、成功したこと)
	今年度、活動をすすめられた中で、どういった課題があった か。それらを解決するためにどのように取り組まれたか。もし くは、今後、どのように改善したいか。
	まちづくり活動支援制度の活用状況

平成27年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	平成27年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題の解決に向けての 取り組み、改善	今後の予定	まちづくり活動支援
1 白川地区 まちづくり協議会	H20年 6月26日	未	1) 白川地区の良好な景観形成を目指し、景観の保全と育成を検討する。 2) 白川地区の歴史文化の保全と継承及び観光振興のため、金色院跡などの文化財保護や整備を検討する。 3) 白川地区の交通問題の解決に向けて、道路等のあり方について検討する。 4) 白川地区の特産である茶葉の振興に向けて検討する。 5) 白川地区の福祉の充実に向けて検討する。	4月5日 白川区総会(60名) 【内容】協議会にかかる事業報告・予算等承認される 4月6日 白川区通学路にて交通安全啓発事業を実施(20名) 5月4日 白川地区まちづくり行政懇談会(20名) 【内容】まちづくりの課題等について懇談 5月27日 バス停(白川峠)の現地調査(3名) 【内容】宇治市交通政策課、京阪京都交通バスと現地調査 6月19日 協議会幹事会及び白川区役員会合同会議(12名) 【内容】役員配置、協議会計画の策定見直しについて 7月21日 『お茶の京都』に関する呼びかけ・説明会 【内容】京都府が宇治市の関係部署と実施 8月12日 白川地区及び協議会役員合同会議(10名) 【内容】通学路交通安全対策啓発事業について、まちづくり審議会開催について及び商工会議所による白川地区里山イベント構想について 8月27日 白川地区通学路にて交通安全啓発事業を実施(20名) 9月2日 まちづくり審議会に出席(2名) 【内容】地区まちづくり計画案の承認を得る 9月28日 先進地視察(33名) 【内容】人と防災未来センターの見学(神戸) 9月4日 商工会議所へ取材協力(10名) 【内容】宇治里山(白川地区)のイベント動画撮影 10月14日 協議会幹事会(10名) 【内容】地区まちづくり計画案の全戸配布、府立茶業研究所の建替え説明会 11月1日 白川区臨時総会(72名) 【内容】宇治市から審議会の経過及び条例に関する説明を受け、全会一致で地区まちづくり計画案に関して承認を取得 11月、12月 同意文書回収事務(協議会役員) 【内容】1か月余りで住民の9割超の同意を取得 11月6日 第8回「ゆめづくりまちづくり賞」(国土交通省)に応募(10名) 11月20日 白川区役員会・協議会幹事会合同会議(10名) 【内容】計画区域住民用同意書について 12月5日 協議会役員会(10名) 【内容】バス停(白川峠)移転の課題について 12月28日 区民だより発行 【内容】地区まちづくり計画案の同意取得状況及び交通安全施設の設置について報告 1月7日 白川地区通学路にて交通安全啓発事業を実施(20名) 2月1日 天ダム再開発事業現地説明に参加(20名) 2月8日 白川区役員会・協議会幹事会合同会議 【内容】地区外地権者への同意形成について 3月11日 まちづくり審議会へ出席 【内容】地区まちづくり計画の認定要件を満足していることを承認される 3月14日 第11回関西元気な地域づくり発表会 【内容】地区まちづくり計画案を発表	地区まちづくり計画を重視し、地域の歴史性などをまとめることができ、住民からも同意を取得できたこと	地区まちづくり計画の策定は成功したが、近隣の福祉施設等との交流のあり方の検討が必要 地区まちづくり計画の問題に対する年次計画をたてていくこと 近隣の福祉施設と連携しながら推進していく。地域高齢者の介護について意見交換も重要 年次計画に早急に着手する。	地区内外の未着手の同意形成を引き続き行っていく。 まちづくり計画の冊子が完成した際にイベントを開催したい。 必要な行政情報、ノウハウ等に関する勉強会を実施していきたい。	
2 南陵町地区 まちづくり協議会	H20年 12月8日	H23年 10月14日	よい町を育てゆくことを目的とし安心、安全、良好な住環境を守る為の活動。	4月19日 協議会活動報告(自治会135名) 5月~6月 協定第8条に基づき、空き家・空き地・駐車場の管理実態を調査し所有者に適正管理を求めた。 7月2日 市主催のうじ井戸端会議へ参加(役員1名) 8月22日 夏まつり(470世帯、役員17名) 9月27日 防災研修会(90名、役員12名) 10月~12月 居住者実態調査を実施し、地区内居住者兼会員名簿の整理、今後の活動方針打合せを行い、管理不備の空き家に対して市に助言及び指導を依頼 10月4日 要支援者訓練(約100名、役員14名) 【内容】要援護者避難誘導訓練・その他 10月25日 防災訓練(約190名、役員12名) 11月27日 市主催のうじ井戸端会議へ参加(役員2名) 1月17日 役員会 【内容】平成27年度事業報告・平成28年度の活動計画及び空き家条例説明 3月18日 市主催のうじ井戸端会議へ参加(役員3名)	地区まちづくり計画によって、地区内の空き家・空き地の大半を把握でき、市と連携して、放置空き家の防災・防犯性を高めることができています。 市条例の空き家アドバイザー派遣制度の周知ができています	昨年と同様に、空き地・空き家が増加しており、協議会で全て把握できておらず、特に所有者・管理者不明の空き地・空き家管理が地区まちづくり計画を推進していく上で障害になっている。 連絡先が不明の空き地・空き家について自治会や近隣住民と協力して連絡先の判明に努めた。 防犯・防火のため見回りを行った。 市の空き家条例やアドバイザー制度について、空き家の所有者に周知活動を行うことで適切な管理を促す。	地区まちづくり計画に定めている協定の締結を引続き推進していく。 空き家の現状把握、空き家・空き地の適正管理及び連絡先の把握と防災に関する活動を継続していく。環境管理の調査を6月以降に3回実施する予定。	

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	平成27年度活動内容	よかったこと、評価できる こと	課題や問題の解決に向け ての取り組み、改善	今後の予定	まちづくり活動支援
3 南御蔵山地区 まちづくり協議会	H21年 8月14日	未	本協議会は、緑ゆたかで閑 静な住環境を維持し、住民の 快適で安全な生活を守ること を目標としたまちづくりの実現 に向けて、その具体化と推進 をはかることを目的とする。	4月 5日 自治会総会 【内 容】 協議会の活動報告及び今後の方針について説明、了承を得た。 4月14日 第1回まちづくり懇話会 (23名) 【内 容】 地区まちづくり計画案について反対意見が出た。 7月 2日 市主催のうじ井戸端会議に参加 8月 1日 第2回まちづくり懇話会 【内 容】 地区まちづくり計画案について協議。反対意見が多数。 9月17日 京都新聞取材 【内 容】 地区まちづくり計画に関する取材を受ける。 9月26日 総会 (28名) 【内 容】 協議会が自治会内の委員会であることの再確認。懇話会等の活 動報告 10月24日 第3回まちづくり懇話会 (19名) 【内 容】 宇治市職員による講演、地区まちづくり計画や空き家に関する質 疑応答。 11月27日 市主催のうじ井戸端会議に参加 1月24日 平尾自治会 長寿会にて交流、意見交換 3月13日 第4回まちづくり懇話会 【内 容】 意見交換。地区まちづくり計画案に対する意見、道路・側溝整 備、医療少年院跡地について 3月18日 市主催のうじ井戸端会議に参加 以外については役員会15回、自治会役員会13回	会の運営を正常化できた こと まちづくり懇話会を開催し て、より多くの住民が発言す る機会を作れたこと(参加者 平均20名程度)	自治会役員は任期が単 年度であるので、自治会との 関係を修復しても、次年度に はまた繰り返すとなる。 まちづくり懇話会を充実し ていく。 自治会との関係改善に 時間をかけて十分な話し合い を持つ。 住民からの申出や相談 に即、親身に対応する。 自治会の活性の為に井 戸端会議のようなイベントを 開催したい。 自治会と共に地区まちづ くり計画案を立案する。	7月 第5回まちづくり懇 話会(テーマ「地震と御蔵山」 (仮称))	
4 宇治市北の玄関 街づくり協議会	H21年 9月25日	未	六地蔵地区並びに木幡御蔵 山地域の一部の都市機能と 生活環境の向上をはかり、安 全かつ快適で文化的な街づ くりを推進することを目的とす る。	5月14日 総会 (11名) 【内 容】 事業、決算報告等の承認、役員と会長の改選 7月 9日 定例会議 (11名) 【内 容】 市職員とまちづくりに関する協議 9月10日 定例会議 (10名) 【内 容】 防災訓練、みこし祭に関する打合せ 10月14日 地域の防災訓練の応援 (12名) 11月 3日 区の子供みこし祭の応援 (12名) 11月12日 定例会議 (8名) 【内 容】 防災訓練、みこし祭に関する報告 12月28日 区内防災パトロールの応援 (6名) 1月15日 定例会議 (12名) 【内 容】 市職員よりサポート道路に関する説明あり。 3月10日 定例会議 (8名) 【内 容】 地域の発展について	地域の行事に役員全員 で協力し、行事の成功を分か ち合えるようになったこと	サポート道路の進展が一 向に見られない。 府道の木幡～宇治線正 中付近で歩道が途切れてい て、大変危険である。	サポート道路の開通促進 を引続き市に依頼。 JR奈良線複線化に伴う 六地蔵駅の改修に六地蔵区 と一体で対応する。 地域行事への積極的な 参加。	・ 活動費助成 対象金額: 38,653 円 助成金: 19,000円 内容: 防災訓練 費

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	平成27年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題の解決に向けての取り組み、改善	今後の予定	まちづくり活動支援
5 志津川地区まちづくり協議会	H22年 2月8日	未	・ 緑豊かな美しい自然を生かしたまちづくり ・ 生涯住み続けられる住環境をつくるまちづくり ・ 助け合って生きていけるまちづくりを目標としたまちづくりを行うことを目的とする。	5月9日 第5回総会(20名) 【内 容】 結成時の原点に戻って議論 5月24日 防護柵総点検(20名) 【内 容】 猪に壊された防護柵の点検応急処置実施 6月6日 6役会議(6名) 【内 容】 ブルーベリー植栽事業など協議 7月2日 市主催のうじ井戸端会議に参加(3名) 7月12日 避難訓練(100名) 【内 容】 8.14豪雨災害追悼式を兼ねて実施。 7月19日 夏のクリーン活動(74名) 【内 容】 道路に張り出した木の伐採等。 7月21日 不法な農地埋立問題について行政指導強化の再要請(6名) 7月25日 ブルーベリー苗木の積み下ろし作業(3名) 8月7日 6役会議(6名) 【内 容】 平成27年度事業の具体化で協議 8月8日 ブルーベリー苗木配布(5名) 8月8日 宇治市防災講演会(1名) 8月8日 福祉の園夏祭り(10名) 【内 容】 模擬店コーナー要員協力 9月12日 協議会会議と懇親会(バーベキュー)(15名) 10月25日 秋のクリーン活動(57名) 【内 容】 秋祭りに向けて区内一円で清掃作業。 11月6日 6役会議、自主防災救出救護部会議(7名) 11月14日 第52回協議会会議(20名) 【内 容】 危険源対策事業の具体化で協議 11月19日 市防護柵申請箇所確認(4名) 11月27日 市主催のうじ井戸端会議に参加(3名) 12月5日 福祉の園陶器まつり(9名) 【内 容】 餅つきコーナーなどで要員協力 1月8日 作業内容検討(自主防災救出救護部と区3役の8名) 1月16日 第53回協議会会議(20名) 【内 容】 危険源対策事業の具体化で協議 1月24日 防災活動ハザードマップ危険源対策事業(14名) 【内 容】 宇治市道志津川18号線付近の放置竹林の伐採整理事業実施 1月31日 先進地視察(37名) 【内 容】 稲村の火の館見学(和歌山) 2月6日 防護柵設置作業(6名) 2月7日 防護柵設置作業(6名) 2月21日 防護柵設置作業(14名) 2月28日 防護柵設置作業(19名) 3月9日 平成27年度協議会収支会計監査(5名) 3月13日 防護柵設置作業(12名) 3月18日 市主催のうじ井戸端会議に参加(2名)	平成27年度もみんなで力を合わせて一步一步前進させられたこと。 ブルーベリーを各家庭で育てようと配布したこと。 平成26年に作成したハザードマップの危険箇所対策事業を行ったこと。 先進地視察等により、災害後にみんなで進めてきた取り組みに確信を持つことができた。 休耕田を活用した園芸広場は好評で今年から福祉の園も参加することになった。	ダンプカーによる騒音、振動、粉塵問題や資材置き場の騒音問題、農地埋立問題 告発看板等により当事者に要請しているが、農地の不法な埋立問題が未解決のままであり、引き続き行政と解決に向けて取り組みに確信を持つことができた。 高齢者の経済的な支援につながる活動や若者が帰ってくるまちづくりへの取組み	5月7日 6役会議 6月11日 第6回 総会 6月18日 6役会 議 6月26日 夏のク リーン活動 7月17日 避難訓 練 まちづくり区民たよ りを月1回発行	・ 活動費助成 対象金額: 544,066円 助成金:272,000 円 内容:協議会 ニュース印刷費、 地域防災対策事 業費、先進地視 察交通費
6 明星町地区 まちづくり協議会	H22年 6月11日	未	明星町地区の住環境を良好に保ち、健康で安心できる、安全で、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進を図ることを目的とする。	4月18日 レインボーバスミュージアムお絵かき会(10名) 【内 容】 5月～8月の車内掲載用に子供のお絵かきを実施 4月29日 明星園とともに地域の福祉をよくする会(6名) 【内 容】 苑道明星園にて総会とイベントがあり、綿菓子をお年寄りや子供たちに提供 6月20日 夜間違法駐車台数の調査(8名) 【内 容】 45台が21時以降80台になる。 8月17日 レインボーバスミュージアムお絵かき会(13名) 【内 容】 9月～12月の車内掲載用に子供のお絵かきを実施 8月22日 地藏盆に参加(5名) 【内 容】 子どもと一緒にねぶた灯籠を製作。子供達の絵を灯籠に貼る。 10月24日 第4回明星町秋まつり前夜祭・ハロウィン(100名) 【内 容】 子供達がハロウィンの衣装でねぶた灯籠を先頭に、町内を回る。 10月25日 第4回明星町秋まつり(250名) 【内 容】 輪投げ等の遊び場や模擬店を開催 12月23日 第3回まちづくり餅つき大会(110名) 【内 容】 100円にて食べ放題のまちづくり餅つき大会を開催。 2月21日 第4回明星町まちづくり塾(20名) 【内 容】 これからの明星町を考えるというタイトルで5年先、10年先の自主防災を危機管理課の出前講座とミーティングで開催。	秋まつりでの募金活動を実施できたこと、秋まつりが定着してきたこと。ハロウィンの人気もあり100名以上の親子の参加があった。	明星町の自治会組織率は99%以上であるが、高齢化もあり、世代間の交流が不足している。 開発から40年たって老朽化している住宅の耐震問題 自主防災組織を早急に立上げ、世代間で助け合えるようにしたい。	停滞していた自主防災組織の設立 耐震問題について検討する 避難所対策	